まちの現状とこれからを意見交換

町まちづくり説明会

まちから直接説明を聞こうと多くの町民が参加

まちの財政状況や今後のまちづくりについてまちの皆さんに説明する「日野町まちづくり説明会」を11月6日に町公民館で9日に山村開発センターで開きました。説明会では、今後10年間の財政推計やまちが現在進めていることなどを説明したあと意見交換が行われました。

まちの現状をつぶさに知って

町内2会場で開いた説明会には、延べ約100人の町民・町関係者が出席しました。

まず、開会にあたり景山町長があいさつし、「時代をさかのぼると、バブル経済崩壊の後、景気対策として事業にどんどんお金を使い、あとに残るは借金ばかり。その返済も現在ピークを迎えています600万円の赤字となりましたが、当初見込んでいた赤字額約2億5000万円を約10分の1にまで縮小することができました。

これは、徹底した経費削減のほか、国からの地方交付税が見込みより多く交付されたこと、固定資産税率アップなどによる税収の増加や、17年度からの繰越金約1億1800万円を収入できたことなど、財政再建に取り組んだ結果だと思います。

しかし安心はできません。10月に作成した財政推計（3ページのグラフ参照）によると、25年度までは赤字が続くことが見込まれ、累積赤字額は最大約3億円となる見通しです。

昨年度の推計より財政状況は改善されてはいますが、さらに創意工夫し、1年でも早く赤字が解消できるよう努力していきます。

※詳しい推計数値などは広報ひのおしらせ版11月5日号をご覧ください。

が、これからは徐々に減っていく見通しです。今日はその状況をつぶさに知ってもらいたい」と参加者に訴えました。

昨年と比べ財政状況は改善今後いっそう努力を

続いて、吉留副町長が現在の財政状況について説明しました。

▼説明内容要旨

平成18年度決算では、約2

まちの財政状況のほか今、まちが進めている事業やこれからのまちづくりなどについて説明しました。

▼保育所の統合について【町長から】

黒坂保育所とひのっこ保育所の統合に向けて、昨年から保護者の皆さんと意見交換を重ねてきました。その中で、1園を民間で運営し、2園とも残す方法を模索しましたが、民間での運営は難しく、現在は統合を前提に保護者の方からご意見をいただいている状況です。

保護者のご理解がいただければ、来年4月から、ひのっこ保育所に統合したいと考えています。

▼黒坂地区給水施設改良について【産業振興課長から】

黒坂地区の水道水は日野川の伏流水を使っていますが、最近フッ素の濃度が基準値に近くなりつつあることから新たな水源を求めていたところ、中菅地内に安全な水源を見つけ、現在工事を行っています。今年度内には完了し、給水できる見通しです。（事業費＝約5460万円）

▼黒坂地区農業集落排水汚泥消滅化施設について【産業振興課長から】

公共下水道や農業集落排水の処理過程で発生する汚泥は、焼却・スラグ化して処理していますが、処理費用も多くかかっています。このたび、黒坂地区農業集落排水の汚泥処理のため、汚泥消滅化システムを導入し、10月末から処理を始めています。（詳しくは6ページをご覧ください）

▼リバーサイドひのについて【産業振興課長から】

町交流センター・リバーサイドひのは、経営難のため、9月末に㈲フレッシュひのの指定管理を解除し、現在休館中です。

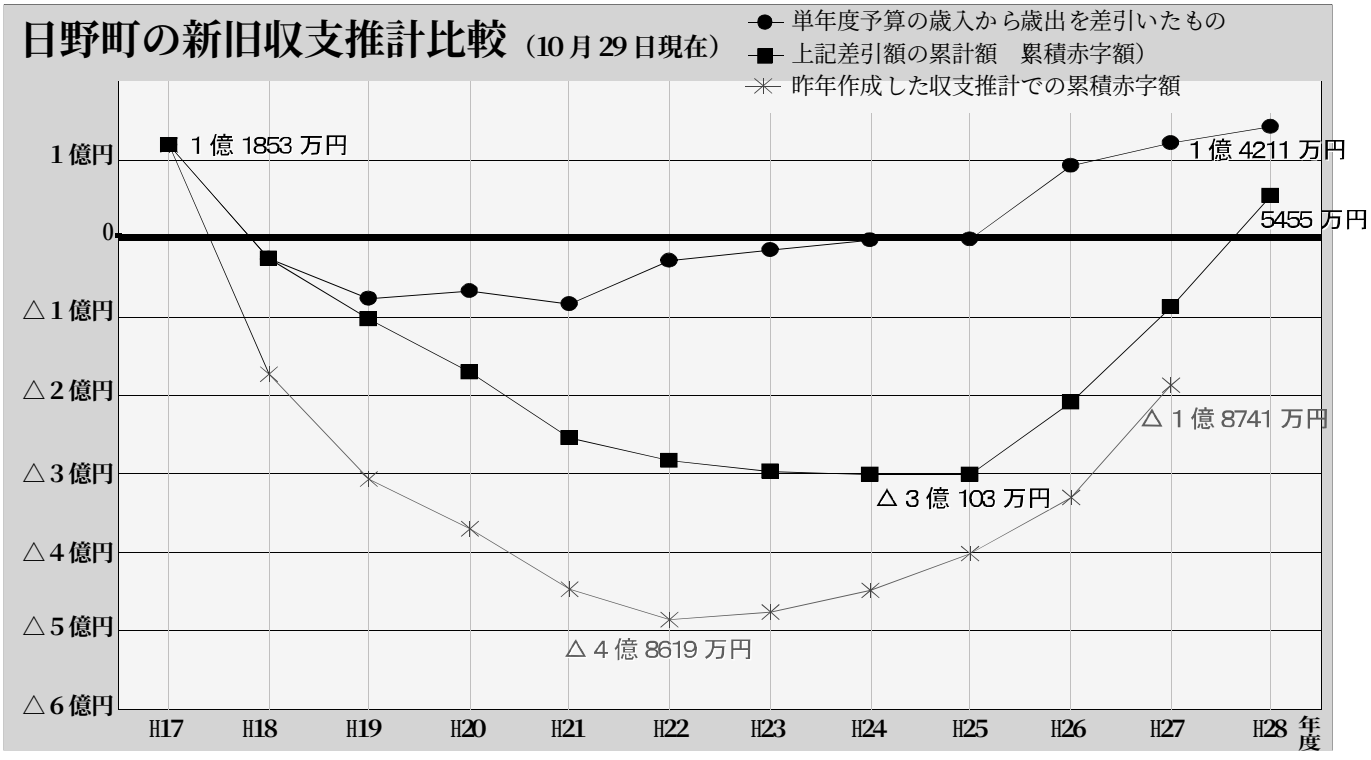
今年度中に新しい指定管理者を募集し、順調に行けば最短で来年2月ごろから営業を再開したいと考えています。

▼ぽかぽか教室について【健康福祉課長から】

まちでは、健康づくりと介護予防のため、「ぽかぽか教室」を行っています。

おおむね65歳以上の5人程度のグループで申込んでいただければ、筋力アップ体操や調理実習など、地域に出かけて教室を行います。昨年度は13地区、延べ740人の参加者があり好評でした。体力づくり・仲間づくりにぜひお役立てください。

▼町営バスの利用促進について【総務企画課長から】

昨年1月から運行している町営バスについて、菅福線での利用者数は年々増える傾向にあり、他の路線はほぼ横ばいの状態です。現金収入も順調に増えています。

また、今年4月からは根雨宿・病院線も開設し、現在4路線で運行しています。今後も町営バスをご利用くださいますようお願いします。